

*「あなたは高価で尊い。」神の愛① 選び宝とする愛

詩篇135篇4節に「…主は、イスラエルを選んで、ご自分の宝とされた。」とあります。「あなたは高価で尊い」と言われるのは、神様がその人を「ご自分の宝」とされるということです。神様はその人を自分の宝として、喜び、大切に扱い、しっかりと守られるのです。

*「あなたは高価で尊い。」神の愛② 人の尊厳・存在価値を知っている

神様はその人の内面やその存在の価値を認めて心から深く愛して下さいます。神さまは人のすべてを知っておられます。すべてを知って愛しておられるのです。

人を創造された方(43:1, 7)として人の尊厳を尊んで下さるのです。

*神の愛はロマンチックな愛ではない。「痘痕(あばた)も笑窪(えくぼ)」

「高価で尊い、愛している」と言われるとロマンチックな感じがします。そして「…わたしは人をあなたの代わりにし、国民をあなたのいのちの代わりにするのだ。」と言われるとえこひいきをしているように思えます。

しかし、実は神の愛はロマンチックでもなく、もちろんえこひいきではありません。

「痘痕も笑窪」ということわざからロマンチックでえこひいきな愛を考えましょう。このことわざは、好きになると痘痕でもかわいい笑窪に見えるという意味から、愛する人をひいき目で見ると、相手の欠点も長所に見えてくる、というたとえです。

痘痕とは、天然痘という恐ろしい病気の傷跡です。それは重い心の傷のあらわれ、忘れられない死の恐怖なのです。私たちは、人を愛してその人を見ますが、そのまなざしはいつもどこか「痘痕も笑窪」とその人をひいき目に見てしまって真実の姿を見ないで、関わらないでいるのではないのでしょうか。しかし神様の愛は、そのような愛ではありません。

*神の愛は罪を赦し、救いを与える

神様は私たちを愛しておられます。しかもひいき目に見ることはありません。人の真実の姿をしっかりと見ておられるのです。人の真実の姿とは、すべての人が罪人であるということです。罪とは死に至る病なのです。その致死率は100パーセントです。

神様は、その罪を赦そうとされるのです。これが神様の真実の愛です。

それで人を救うために神様がなされたこと、4節の後半にあるように「わたしは人のいのちをあなたの代わりにする」というのです。神様は、イエス・キリストを私たちの身代わりとして十字架で殺すことによって、私たちを罪の結果である死から救い出して下さったのです。

人はこの十字架によって救われ、まことのいのちを与えられ、神様の真実の愛によって、守られ、支えられて生きることができるのです。このイエス・キリストの十字架を信じ、神様の真実の愛のうちにすばらしい人生を歩んでいきましょう。